

II 市の概況

1 位置と地勢

新市は、武蔵野台地のほぼ中央にあって、東京都の西北部に位置し（北緯 35 度 44 分、東経 139 度 33 分）、北は埼玉県新座市、南は武蔵野市、東は練馬区に、西は小平市および東久留米市に接しています。

標高 67 m、地勢は北に白子川、中央部に新川（白子川支流）南部に石神井川があり、それぞれ西部より東部に向かって流れており、その沿岸が 2～3 m の低地となっているほか、一般には西から東になだらかに傾斜したほぼ平坦な地域です。

地質は、関東ローム層（主として関東地方に分布する褐色の土で、砂と粘土から成って空隙に富み、有機物を多量に含んで、植物の育成に適する。）で厚さ 10m 以上の所が多く、その下は径 3～5 cm の礫層で、地下水位は河川沿岸の低地に見られるくらいです。

2 気候

1 年を通じての平均気温は、15.9（最高 38.2、最低 -6.4）（平成 10 年）、年間降水量は 2,275.5mm、気温は温和で、都心への交通の便もよく、住居都市として、最適の環境をそなえています。

3 面積

新市は東西 4.8 km 南北 5.6 km にわたり、面積は 15.8km² となっています。土地の利用状況（平成 9 年度土地利用状況調査）をみると、宅地系は 40.3%、農業系は 14.5%、商業系は 5.2% で全体の約 60% を占めています。

4 人口

平成 12 年 1 月 1 日現在の住民基本台帳による 2 市の総人口は 179,561 人で、平成 2 年の 170,290 人と比較すると約 5.4% 増加しています。

年齢別三階層人口は、平成 7 年（国勢調査）の年少人口が 13.9%、老年人口が 12.7%、平成 2 年（国勢調査）は年少人口 15.7%、老年人口 9.5% となっており、老年人口の増加が顕著となっています。